

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

<p>団体名</p>	<p>社会福祉法人 川崎聖風福祉会 たじま家庭支援センター</p>
<p>取組の名称</p>	<p>てんとう虫ハウス（共生型こども食堂）・学習支援</p>
<p>実施場所</p>	<p>かわさき地域生活支援拠点たじま内のロビー</p>
<p>対象地域</p>	<p>川崎区</p>
<p>対象地域の 特色・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設がある田島町は、5 町会（田島町、姥が森、東綱親和会、追分、鋼管通 2 丁目）からなり、障がい児者への理解があり、祭りやイベント等にも積極的に参加を呼び掛けて頂いています。施設に隣接している川崎市立田島支援学校もあり、交流も行われています。 ・当センターの相談対象者を幼児から高齢者・障がい児者に関係なく、家庭をターゲットにしている中で、家庭内の複雑な課題を抱えたケースが多く、自身の困りごとの表出ができない家庭も多いため、気づいた地域住民が声を上げることも多い地域。 ・地域の重鎮（町会長、民生委員）等が高齢化で、次の地域を担う若い世代が育ってきていない。 ・祭りや集会があると飲酒の機会が多い地域、新しい住民に対して排他的ではなく、イベント等を通じて受け入れが柔軟な地域であるが、こども会・婦人会・自治会の加入率は低下してきている。
<p>取組の趣旨・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臨港中学校区地域教育会議を中心に、特色のある寺子屋事業を、地域の高齢者を中心に展開されている。 『てんとう虫ハウス』：子どもを含めた居場所づくり：家庭や学校以外で、安心・安全な居場所を提供し、幼児から高齢者までが集える共生食堂を目指す。活動できる場所を確保することで、参加者個々の自己肯定感を育み、地域のボランティアや、施設スタッフを見てロールモデルづくりのきっかけとする。 『こども学習支援』：小学校中学年から、学習の遅れが目立ち始め、家庭内において兄弟が多く自室を持たず、居間等で勉強を行うなどのハード面の問題や、親の就労や経済的な事由により、勉強を見てあげることができない現状があり、親の希望する声が上がりに実施に至っている（こども個々に理解の方法が異なり、一工夫した支援が必要となる。）

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>『てんとう虫ハウス』: 緊急事態宣言中については、中止をしています。自粛明けについては、月 1~2 回程度で、第 1・3 金曜日で開催しています。</p> <p>『学習支援』: 第 2・4 週水曜日を小学生の部として実施しています。中学生については部活もあるので、試験勉強の期間については、毎日実施をしています。</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>小学生~70 歳代</p>	<p>定員 (1 回あたり)</p>	<p>子ども食堂: 20 名程度 学習支援: 1~3 名程度</p>
<p>実施頻度</p>	<p>学習支援: 毎週水曜日 子ども食堂: 月 2 回</p>	<p>活動日数 (年間)</p>	<p>128 日 子ども食堂: 6 回 学習支援: 122 回</p>
<p>スタッフ体制</p>	<p>『てんとう虫ハウス』: 家庭支援センタースタッフ 3 名・栄養士 1 名、生活介護のスタッフ 3 名</p> <p>『学習支援』: 家庭支援センタースタッフ 3 名のみ</p> <p>※今年度も、コロナウィルスのこともあるので、地域のサポーターさんにはお休みしていただいています。</p>		
<p>連携する団体・連携の手法</p>	<p>てんとう虫ハウス: 町内会会長 (田島町会、姥が森町会、東網親和会、追分、鋼管通 2 丁目)、町会婦人部、民生委員・児童委員、田島支所みまもり支援センター、臨港中学校区地域教育会議、川崎市社会福祉協議会 (各地区社協)、青丘社 (桜本子ども食堂) 等との連携</p> <p>学習支援: 渡田小学校・大島小学校開催の寺子屋</p>		
<p>取組実施により見込まれた効果</p>	<p>今年度は、まん延防止等重点措置法の期間が昨年に比べ、長期間となり、子ども食堂が 6 回程度の開催となった。</p> <p>再開できた 11 月には、以前参加していた子どもや保護者等が全員参加することが出来た。参加した子どもも、大きく成長しており、定期的に参加していた子どもの中には、関わりのあった子どもの顔を忘れていて・子どもの輪の中に入れない等が見られた。継続的に開催することの必要性が再認識できる場面となった。</p> <p>学習支援については、今年度は新たに小学生 1 名と中学生 1 名が参加している。中学生については、部活もある中での学習支援になるため、部活の無い日やテスト期間中の対応となっている。小学生については、毎週水曜日を基本として、学習支援を実施している。テストの分からないところを中心に一緒に行っているが、テストが返却されたタイミングで見せに来て、点数を見て悔しがる様子も見られている。</p> <p>学習支援に来ている子どもについては、家庭の事情を含め、様々な課題がある家庭が多く、親からの勧めで、学習支援に参加している子どもたちではあるが、定期的に来所して、勉強をしているので、参加している子どもにとっての居場所と</p>		

	なっていると思われる。
--	-------------